



信州の環境と知に根ざしたESDコンソーシアムの形成

信州ESD通信

No. **29**
2019.11.10

信州ESD
コンソーシアム
事務局

目次：台風19号による被害/国際ユース作文コンテスト/ESD推進ネットワーク全国大会

10月13日 台風19号により会員にも大きな被害がありました

会員の「長野市長沼交流センター」が全壊し、「ミールケア」本社と店舗が床上浸水しました。センターは千曲川が決壊した直近にあって急激な濁流に飲み込まれて壁は破壊され、保管していた太鼓20個も流されました。センターが様々な支援をしていた長沼小学校も1階が水につかり復旧のめどがありません。長沼交流センターは「交流から耕流、そして興流へ」をスローガンに持続可能な町づくりに取り組んできていましたが、今回の災害で一時的にでも活動が停滞する恐れがあります。様々なご援助、ご支援が求められています。常時ボランティアも受け入れていますのでよろしくお願いいたします。

「ミールケア」も決壊に近い国道19号線沿いにあり本社と工場、レストランが高さ約3メートルまで浸水し壊滅的被害を受けました。その後、必死の復旧活動により現在は仮事務所を開設して活動を再開しています。

10月30日 国際ユース作文コンテストでユネスコスクール2校が入賞しました

五井平和財団は「生命憲章」を基本理念とし、あらゆる生命が調和し合える新しい時代の平和な世界のビジョンを示し、そのような世界を実現するための原則を提唱しています。財団主催の「2019年度国際ユース作文コンテスト：優しさがあふれる社会をつくる」には、世界157カ国から合計20,657作品(子どもの部7,383作品、若者の部13,274作品)が寄せられ、長野県からは以下のユネスコスクール2校の3名が入賞しました。ユネスコスクールでの多彩な学習活動の成果といえるでしょう、おめでとうございます！



優秀賞「見える優しさ、見えない優しさ」山本智也(山ノ内町立山ノ内中学校)。佳作「心の貧困と子ども食堂」玉井沙季、「私の思う優しさ」飯田陽美(共に文化学園長野高等学校)。

SDGs
ニュース

●信州ESDコンソーシアムも加盟しているESD推進ネットワークの「全国フォーラム2019」が「SDGsを地域で達成していくための人づくり：ESD for 2030を見据えて」をテーマに、12月20-21日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されます。信州ESDコンソーシアムからも展示出展の予定です、詳細はHP等をご覧ください。

事務局
より

●来年2月1日の信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会は、信州大学工学部の国際科学イノベーションセンターをお借りして開催します。会場の通称AICS(アイクス)は信州大学が革新的イノベーションを生み出すための新たな知の拠点として建設した建物です。広々としたセミナースペースでの発表となりますので、ぜひご参加ください。



信州ESD通信

No.29 2019.11.10

発行：信州ESDコンソーシアム事務局 編集：渡辺隆一
〒380-8544 長野市西長野6 信州大学教育学部
事務局：清水・高橋 TEL026-238-4034 kyoed@shinshu-u.ac.jp